

## 疑問詞 - 下線部を尋ねる疑問文 -

★「何て聞けばいいか」がわかったら、次は、それを英語で書いてみましょう。

ここでも、「もともとの文から考える」ということが大きなポイント！



もともとの文:

I have tomato juice every day.

「あなたは毎日、何を飲みますか？」という文を作ると: What do you have \_\_\_\_\_ every day?

…そう！

① もともとの文の、下線が引かれている部分を省き、

② 残りの部分を使って、疑問文を作る！

この手順で、「下線部を尋ねる疑問文」「下線部が答え(の中心)となる疑問文」を作れるのです♪

☆もともとの文の「残りの部分」から疑問文を作るには、

疑問文のつくりかたが身につけていることが必要。

「疑問文のつくりかた」練習問題プリントで、まずはしっかり練習して身につけてね！

例 1) This is my English notebook.



**What** is this? (または What is it? )

※ This is ~ という文を疑問文にすると Is this ~? となるよね。

※「それは何ですか?」「これは〇〇です」という会話になると考えて、What is it? でも OK。



こう聞かれたら、答える人は My English notebook. または This is my English notebook. と答える。

例 2) I have five pens in my pencil case. ※ pencil case = ペンケース



**What** do you have in your pencil case?

※ I have ~ という文を疑問文にすると Do you have ~? となるよね。

※「あなたのペンケースに何を持っていますか?」と聞きたいので、もともとの文の my は your に変えよう！



こう聞かれたら、答える人は Five pens. または I have five pens in my pencil case. と答える。

※青文字の部分は、ここでは **what** を使っているけど、問題によっては **how many** かもしれないし、when、where、who、how old、などなど… どんな問題なのかによって、どの「疑問詞」を使うかは変わるので、まずは落ち着いて、日本語で意味を考えてみてね。そして何よりとにかく練習、練習！

まとめますよ～(^▽^)/

| ◆まず、日本語で、下線部の意味と、「何て聞いたら、答える人がそう答えるか」を考える。

| ◇それがつかめたら、下線部以外の部分を使って、疑問文を作る。

| ◆my は your に変える、など細かい部分にも気をつける。

| ◇何よりとにかく練習、練習！(←2回目)

練習問題をたくさん解いてみて、「あ～、こういうことか!」「わかってきた!」となるように頑張るね♪